

ぜん きょう じ
善巧寺報

6 月号


月刊●善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号
TEL 048(734)7660
榎本明覚



▼二〇一八年六月一日▲

しんらん散歩

～ 信願寺 ～



定例法座

毎月
十一日

◎六月十一日(月)午後二時

〓四時

於 善巧寺 本堂

「お浄土はどのような国か」

仏教では自己の行いによって世界が作られると説きます。今眼前に広がる世界も実は、自分自身の今までの行い・経験によって形作られた世界だと言うのです。そうした考えに基づく、極楽浄土とは仏(阿弥陀仏)の善き行いによって作られた国と言う事が出来ます。どのような行いによって作られた国なのでしょうか。『仏説無量寿経』に「法蔵菩薩(阿弥陀仏)の修行中の名(名)は、(貪りの心や怒りの心や害を与えようとする心を起こさず、また、そういう想いを持ってさえいなかった。すべてのものに執着せず、どのようなことにも耐え忍ぶ力をそなえて、数多くの苦をもとめせず、欲は少なく足ることを知って、貪り・怒り・愚かさを離れていた。そしていつも三昧(よく整えられた精神)に心を落ちつけ

て、何ものにもさまたげられない智慧を持ち、偽りの心やこびへつらう心はまったくなかったのである。表情はやわらかく、言葉はやさしく、相手の心を汲み取ってよく受け入れ、雄々しく努め励んで少しもおこたることがなかった。ひたすら清らかな善いことを求めて、すべての人々に利益を与え、仏・法・僧の三宝を敬い、師や年長のものに仕えたのである。その功德と智慧のもとにさまざまな修行をして、すべての人々に功德を与えたのである。空・無相・無願の道理をさとり、はからいを持たず、すべては幻のようだと見とおしていた。また自分を害し、他の人を害し、そしてその両方を害するような悪い言葉を避けて、自分のためになり、他の人のためになり、そしてその両方のためになる善い言葉を用いた。国を捨て王位を捨て、財宝や妻子などもすべて捨て去って、すすんで六波羅蜜を修行し、他の人にもこれを修行させた。このようにしてはかり知れない長い年月の間、功德を積み重ねたのである。」煩惱を離れた清らかな心で作られた国であるが故にこの国を浄土と言い、また安楽と言うのです。

みほとけ会月例会

◎六月二十八日(木)午後一時〓

二時

於 豪徳寺 駅改札南隣ビル三階・ロージナホール(一階に牛井「すき家」が入っているビルです。)

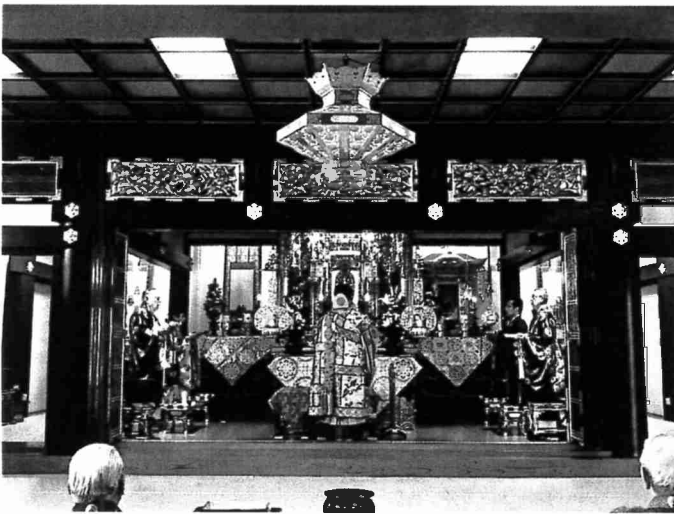
会費 五〇〇円

『大乘仏教の歴史』

今回も、天親菩薩『浄土論』の続きです。浄土とはいかなる場所かと言えば、面積―なものにもさえぎられない広大であつてきわほとりが無い(量功德)。国土の性質―智慧と慈悲、無漏の善根によって成就されている(性功德)。国土のすがた―清らかな光に満ちている、暗いとこが無い(形相功德)。国土の莊嚴―煩惱を離れた(執着を起ささない)妙なるあらゆる宝に満ちている(種々事功德)。莊嚴や人々の色彩―すべてのものが平等に輝かず光に照らされ、優劣がない(妙色功德)。硬さ―宝石や樹木も柔軟で身体を傷つけることなく、触れると法喜の樂を生じる(触功德)。

◆◆春日部だより◆◆

◎去る五月二〇日、善巧寺門信徒総永代経法要を勤修いたしました。お蔭を持ちまして無事円成させていただく事が出来ました。ご参詣の皆様、ご懇念を運んで下さった皆様、準備お手伝いにご尽力下さった皆様に厚く御礼申し上げます。



◎毎月、善巧寺開基の地である東京都世田谷区豪徳寺駅前で開催しております「みほとけ会」。皆様のご支援ご協力によって運営させて頂いておりますが、九月より場所を、宮の坂駅近くの力フエに移し、開催日も日曜日に変更、参加者を広く募る予定です。詳細が決まりましたら、本紙上にてご案内申し上げます。また本年も有志の方に賛助会員のお願いをいたしたく存じます。概要は左記の通りです。お参りの際にお願いすることもあるかと存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

みほとけ会賛助会員募集要項

賛助会費 一〇千円

特典 ○みほとけ会例会

参加無料券×三枚

○腕輪念珠 一連

(阿弥陀経に出る浄土の蓮の花にちなんだ色のお念珠です。今年は黄色黄光になります。)